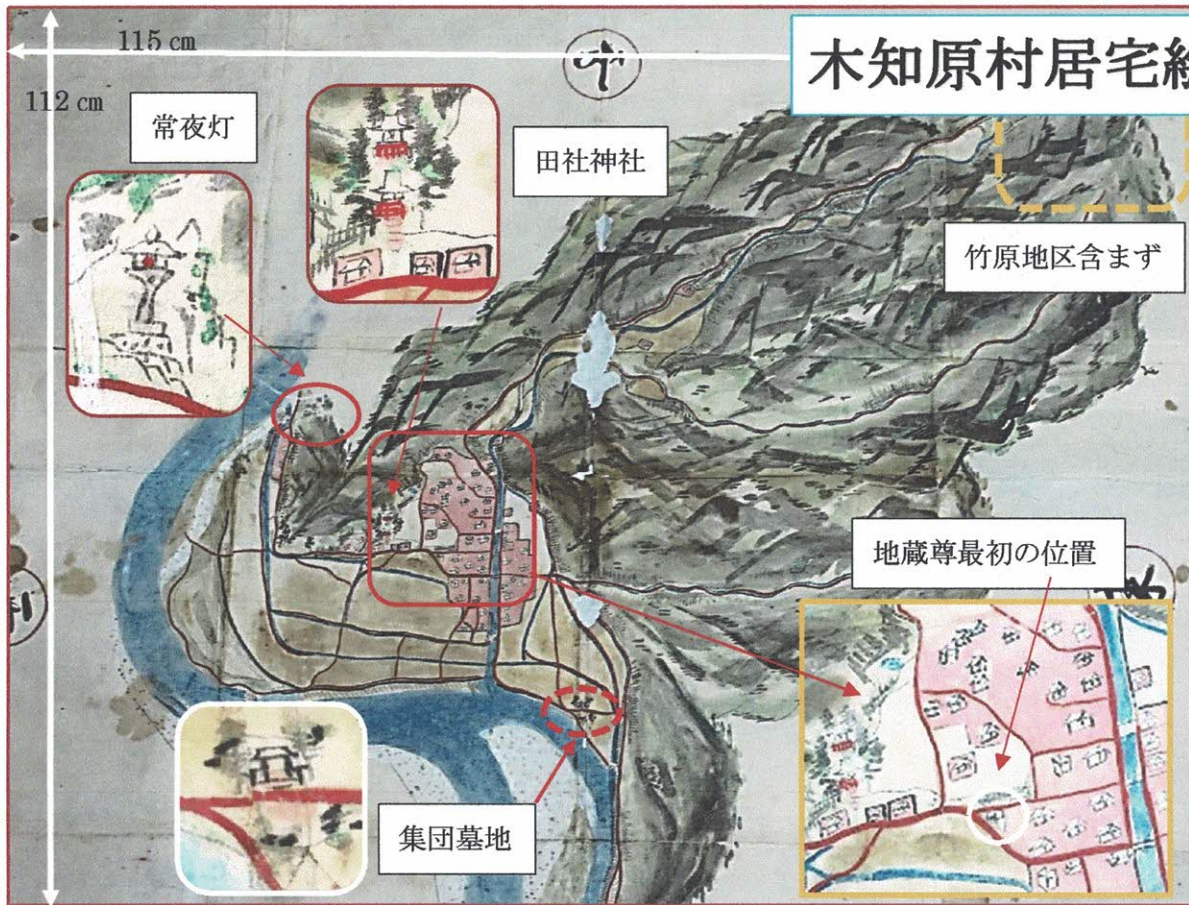


木知原の今昔！

14号：5・5・26

♥ 居宅が画かれた最初の村地図
 ♪ 前号の高辻絵図も参考にしながら村の変化を読み取ってみましょう



木知原村居宅絵図

木知原村の居宅が画かれた最古の絵図である。(現在)

作成時期は記載されていないが、大庄屋に同様な画風で外山郷各村の絵図が残されていることから大庄屋在職期間中に大垣藩お抱え絵師によって画かれたものと思う。

大垣藩主6代(氏英・うじひで)が1748年に、7代(氏教・うじのり)が1789年と共に大庄屋任命に木知原へ来村されていることからほぼ間違いないと思う。

- ♪ 明治5年木知原村は65戸301人の記録があるが、絵図にはその65戸が画かれている。
- ♪ 竹原地区(竹浦)が画かれていないが当時はまだ木知原村の内ではなかったからである。

絵図は説明するまでもないが、居宅が山麓から平地に移り始めている。

耕作地に家を建てることは考えられない時代であるので、河川改修などで出来た土盛部分に少しずつ移住が始まった時期である。

- ♪ 集団墓地が画かれており新しい発見である。
- ♪ 当時の集落の構成は、西屋敷7(岩崎3舎)・中屋敷55・長谷3戸の3区65戸であった。

♥ 今は無い常夜灯が画かれていることは、やはり盗難にあったのでしょうか。残念

とのさま 木知原へ来村

♪ 大垣藩主6代・7代の殿様が2度も木知原に来村されたことは**大事件?**である。

当日は村民総出で黒藤まで出かけ平伏してお迎えし、庄屋宅では畳7枚程を積み上げ殿様の座席としたと伝えられている。

♪ 殿様拝謁は家臣でさえ限られているのに絵師(安齋)や御殿医も一緒とあるから驚きである。外山と根尾郷の統治を安心して任せられる大庄屋であったからでしょう。

♪ 大庄屋とは外山根尾村全域の責任者で現在の市長・警察署・裁判所の権利を一人で兼ねており藩主も一目置く程である。

